

## 株式会社 JSS と日本大学との立場が逆転している件

### ① 経緯

平成 28 年度から、スポーツ科学部 & 危機管理学部キャンパスの警備業務の受託をしている株式会社 JSS だが、この業務委託金額がこれまでの日本大学にないほどの高額で契約されている。

ここ数年は日本大学事業部が各学部からの委託を受けて、施設管理に関する業務の入札を取り仕切っている。その結果、各学部の業務委託費の大幅な削減が実現しているが、今春にオープンしたスポーツ科学部 & 危機管理学部キャンパスに関しては、株式会社 JSS が関与したため、このような結果にはならなかった。

### ② 結果

スポーツ科学部 & 危機管理学部キャンパスの施設管理業務のうち、警備業務は株式会社 JSS が落札。その落札金額は、日本大学全学部の警備委託金額の単価で一番高額で契約された。

その金額は、日本大学の都内にある学部の警備平均単価より、1.5 倍以上である。株式会社 JSS は当初は 2 倍近くの単価で金額を出してきたが、流石に大学はその金額の値引きを交渉。結果、1.5 倍で決まった。

これは入札でも何でも無い。

一方的な株式会社 JSS の要求を、大学がわざわざ値引きまでお願いして受け入れただけである。

### ③ その他

このような結果は田中理事長の鶴の一声で決まった。さらに、この決定が株式会社 JSS に勢いを付けている。

今では、株式会社 JSS は大学執行部に、各学部の施設管理に関わる業務委託契約内容を開示させて、現状の契約を JSS の都合の良い内容や金額に替え、来年以降、強引に契約を自社に切り替えさせようとしている。

これに応じるかのように、大学執行部が日本大学事業部へ資料開示等の指示を出しているようだ。